別紙

平成２０年度　森プロ事業実績：美濃白川森プロ

（平成21年3月末現在）

		H19年度	H20年度				5カ年
		実績	計画	実績	達成率	備考	計画
集約化(ha)		―	33	44	133%		240
作業道（m）		―	2,000	2,036	102%	森林管理路	21,500
間伐等	面積（ha）	―	10	24	240%	利用＋切捨	187
	材積（m3）	―	800	882	110%	支障木含む	10,700
備考							

H20年度利用間伐等における所有者への還元額（補助金含む）〔概算〕　6,812 円／m3

施業集約化の状況
- ○ 地元の精通者及び林道・作業道管理人等の協力を得て、集約化を図った。
- ○ 集約化予定地にモデル的な利用間伐展示林を作り、事業に対する意識向上を図った。
- ○ 森林所有者に進行中の現場を見学してもらい集約化に対する理解を求めた。
- ○ H21予定地所有者と長期施業受託契約を締結した。（10年間）

集約化現地説明

施業プランの活用状況
- ○ 作成中（使用は、試験的に実施中）
- ○ プランナーが現地にて所有者に事業説明を行った。

施業プランナーの養成状況
- ○ 施業プランナー：1名

作業道の状況
- ○ 平成21年3月末現在　作業路開設　約24．5m／人・日
- ○ プランナーとオペレーターと伐採班の3名で作業道線形踏査を行った。
- ○ オペレーターの知識が未熟なため、研修会等でアドバイスをもらい実践した。

森林管理路　W=3.0m　L=2,036m

20.9.26　地域森林管理・経営に関する研修会

作業システムの状況

○　平成21年度3月末現在　素材生産性　約2．94m3／人・日

○　伐採・造材（チェンソー）　→　集材（グラップル）　→　積込・運搬（ﾌｫﾜｰﾀﾞ）　→　運搬（ﾄﾗｯｸ）

積込・運搬
ﾌｫﾜｰﾀﾞ(3.0t)
AK33
→

運搬
↓　ﾄﾗｯｸ(8t)

↑　伐採・造材
チェンソー

集材
グラップル(0.25)
PC-78
→

その他

○　地元関係者に森プロに対する理解を求める説明会・見学会を実施した。

地元関係者に対する森プロ説明会
第１回（20.12.18）・第２回（21.2.14）

作業路開設・高性能機械についての見学会
第１回（20.8.12）・第２回（21.3.17）

森プロの成果

○　白川町森林組合は、育林型事業体から育林・林産型事業体への改革が進行し始めた。
○　林道・作業路等の路網整備の重要性を再認識することができた。
○　集約化をきっかけに地域や森林所有者と白川町森林組合との信頼関係が一層深まった。
○　各研修を通じて、職員・技術者ともに技術・意識を向上することができた。
○　森プロやプランナー研修を通じて、県内外の森林組合との協力関係が構築できた。

今後の課題

○　森林技術者・オペレーターの技術を向上させ、細部での作業効率化により生産性を高める。
○　施業プラン書を完成させ、施業集約化を的確に進める。
○　集約化を効率的に行いコストの削減をめざす。
○　優良材の選別を的確に行い、販売経路を確立し、売値単価の上昇を狙う。
○　森プロ団地内で研修会・見学会を開催し、町内全体への普及啓発が必要である。
○　森林組合内ではリアルタイムで情報交換し、すばやく対応する体制を整える。